

みんなの健康ラジオ

『FDG-PET検査の保険適応について』

(2024年10月31日放送)

横浜放射線医会

神奈川県立がんセンター

日野 彩子

FDG-PET検査の保険適応について

FDG-PET検査は、以下のような場合に保険適応となります

がんの診断・評価

- がんの病期診断、転移・再発の評価の診断が必要な場合

がん以外の特定の疾患

- 難治性部分てんかんで外科手術が必要とされる場合。
- 虚血性心疾患（心筋梗塞・狭心症）による心不全の診断が必要な場合
- 心サルコイドーシス：超音波検査や心電図で心サルコイドーシスが疑われる場合
- 大型血管炎（高安動脈炎、巨細胞性動脈炎）の診断が必要な場合

保険適用外のケース

- 健康診断や人間ドックとしてPET検査を行う場合
- がんの疑いがあるが、他の検査で確定診断が可能な場合
- 同じ月に複数回のPET検査を受ける場合
- 他の画像診断（CT、MRI、超音波検査など）を実施していない場合

FDG-PETの費用

- 健康保険が適用される場合、自己負担額は通常の医療費と同様に3割負担となります。
- 健康診断目的で受ける場合は全額自己負担となり、費用は約10万円程度です。
- **FDG-PET**検査を受ける際は、保険適応の条件について事前に主治医とよくご相談ください。

FDG-PET検査の流れ

- 検査前の絶食: 検査の5～6時間前から絶食します。飲み物は飲んでも良いですが、水やお茶など糖分を含まない物にしてください。
- **FDGの注射:** **FDG**を静脈注射します。
- 安静: 注射後、1時間程度安静にして**FDG**が全身に行き渡るのを待ちます。
- **PET撮像:** **PET装置**のベッドに横になり、撮像します。

まとめ

- FDG-PET検査は、がんの発見や病期診断にとっても有用な検査です。正しい知識を持って、適切に利用することが大切です。